



## 『子どもまつり 2025 in 珠洲』活動報告書

2025年5月

特定非営利活動法人ピースプロジェクト

東京都千代田区岩本町 2-1-15

TEL:03-5823-0035

メール:webmaster\_pp@peace-project.net

理事長 加藤 勉

平素より格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

2025年5月5日に実施いたしました『子どもまつり 2025 in 珠洲』は皆さまからの温かいご支援のもと、無事に開催いたしましたこと心よりの御礼とともにご報告申し上げます。

本イベントは昨年に引き続き今年も石川県珠洲市の協力を得て、昨年の能登半島地震支援拠点である小学校の数倍の広さを持つ野々江総合公園を会場とし、グラウンド、バスケットコートスペース、芝生のエリアが広がる素晴らしい環境のもとで行うことができました。

この公園に隣接する「健民体育館」は昨年の緊急支援時には全国からの救援物資を集約拠点として活用していた施設ですが、現在は「市民の健康作りを推進する施設」として本来の役割にもどり、準備の日には多くの方々が利用されている姿が見受けられ、珠洲市民の方たちがほんの少しずつではありますが「震災前の生活」を取り戻しつつあるように感じました。

一方、公園周辺の施設にはいまだ多くの課題も残存していました。武道館は地震による損壊のために立ち入り禁止の掲示が表示され、工事や修復が手つかずの状態、公園内のトイレや水飲み場も断水のため利用できない状況が続いていました。1年4カ月が過ぎてもなお、珠洲市が依然として震災の爪痕に苦しんでいる現状も改めて実感いたしました。

昨年1月3日から珠洲市の避難所で「私たちにできること」として実施した炊き出し支援活動を通じて多くの被災地の方々とふれあいながら共に日々を送る中、仮設住宅の建設が進み「日常」に少しずつ近づきつつある兆しを感じられるようになってきた矢先の9月の豪雨災害。もたらした甚大な被害は珠洲市で暮らす方々の心を打ち砕くものでした。夏のイベントキャンプに参加した小学生の家も1m近くの床上浸水被害に遭い祖母が暮らす仮設住宅に家族全員で避難している、というお話を伺い、「どうして珠洲がまた」と口にださずにはいられないほど残酷な自然の猛威に衝撃で心が痛みました。

そのような厳しい状況にある自らの事情を一切語ることなく、「お手伝いします」と豪雨災害への炊き出し支援活動に放課後積極的に参加してくれた小学生や中学生。その無償の思いやりと困難な中でも前に進んでいく強い気持ちに被害に遭われた方々だけでなく、支援者である私たちも支えられ、子供たちが復興への希望を再び見せてくれました。

昨年に続き珠洲市での子どもまつりの開催を決定したのは、なによりも希望の源となる珠洲の子供たちに子どもの日を思いっきり楽しんでもらいたい、笑顔になってもらいたい、ただその純粋な願いからでした。

結果として市外、県外からも多くの方々が訪れ、珠洲市の復興への道のりの長さを実感していただく効果もありましたが、子供たちが自分のふるさとで笑顔で過ごす姿こそが被災地の皆様の励みになったものと信じております。

共催、ならびにご支援者の皆様、また、全国から現地へ駆けつけてボランティア活動に従事してくださった仲間たちの力で実現できた活動です。

ここに活動報告書として活動内容をご報告申し上げると同時に、改めて皆様からのご支援とご協力を心より感謝を申し上げます。

### 【概要】

活動期間:2025年5月5日(月・祝) 午前10時～午後4時

実施場所:珠洲市野々江総合公園

石川県珠洲市野々江町6-1 野々江町

総受益者数:約900名

### 【主催】

特定非営利活動法人ピースプロジェクト

### 【共催】

特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan)

武蔵村山さいとうクリニック

### 【協力】

MDRT ジャパン、B-R サーティワン アイスクリーム株式会社、一般社団法人 miraie、ジョンソンヴィル・ジャパン合同会社、有限会社グダイーズオピニオン、

スマイルタンク株式会社、チームエース、株式会社ダングダン、一般財団法人日本ボクシングコミッション(JBC)、OPBF、WBC Cares Japan、LA GYM JAPAN、フェリック株式会社、株式会社モリ・フロッキー、FTL ジャパン株式会社(順不同)



【スペシャルサポートメンバー】(敬称略)

- 谷川真理 (マラソンランナー)
- 山本博(ロバート山本)
- 中村友也 (バスケットプレイヤー)
- 渡慶次幸平 (格闘家)
- 藤田琉樺 (キックボクサー)

【実施アトラクション】 一数字は参加者概数

- ・逆バンジー(150名)                      ・ロードトレイン(300名)
- ・スーパーボールすくい(540名)      ・駄菓子屋さん(260名)
- ・バルーンアート(220名、約600本バルーン提供)

ドラムサークル、輪投げ、子どもダーツ、ビンゴ大会、ボクシングチャレンジ、ランニング教室、キックボクシング体験、バスケットボール教室、おもちゃの病院

- ・人気のアトラクションは整理券を用意。
- ・メインステージと音響設備設置。

【飲食提供】

- ・焼きそば 650食      ・フランクフルトソーセージ 230食
- ・水餃子 330食      ・かき氷 500食      ・各種飲料 1000本

【グッズ提供】

サーティワンアイスクリームグッズ 200名分  
(31エコバッグ、茶菓2種、チャーム1種、缶バッジ1種)

会場全景



【写真紹介】<sup>1</sup>



※活動報告書に掲載する参加者が写っている写真の無断転載はご遠慮ください。

特別ゲストにも参加していただきました。



バスケットボール教室



ロードトレイン



スーパーボールすくい



バルーンアート



駄菓子屋さん



シャボン玉コーナー



輪投げ



子どもダーツ



逆バンジー



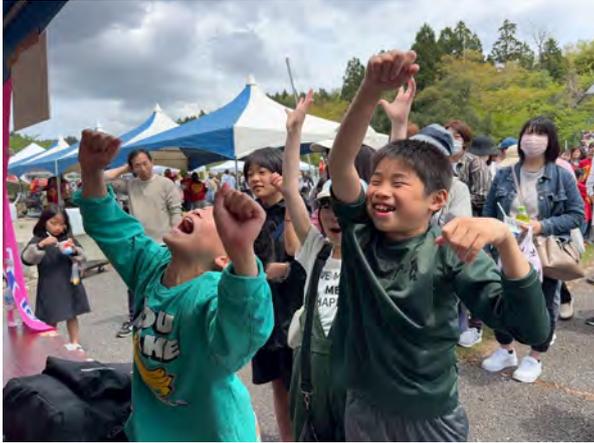
ドラムサークル



ビンゴゲーム



サーティワンアイスクリームグッズ



かき氷



焼きそば





その他ネット記事等

北日本新聞 webunー4月18日プレスリリース配信

<https://webun.jp/articles/-/789982>

Yahoo!ニュース-共同通信記事ー5月5日配信

<https://news.yahoo.co.jp/articles/dacbc82718f908955406220c0a453f24927e90c7>

産経新聞 WEB 記事ー5月5日配信

<https://www.sankei.com/article/20250505-5XAH6G3K2BPK5MNCMY6ALFCBPQ/>

<https://ryukyushimpo.jp/kyodo/entry-4208707.html><https://ryukyushimpo.jp/kyodo/entry-4208707.html>

琉球新報記事ー5月6日掲載

<https://ryukyushimpo.jp/kyodo/entry-4208707.html><https://ryukyushimpo.jp/kyodo/entry-4208707.html>



## 【参加ボランティアスタッフの声】

- 多くの子供たちの笑顔がみられて嬉しかったです。
- 新潟中越、東日本、能登半島と何らかのボランティアをしていますが、今回参加して、これからもライフワークとして継続していきたい想いが強くなりました。
- マイクでの声かけで全体のまとまり、一体感があり、今まで以上に盛り上がり、楽しい子どもまつりでした！
- やはり、子供たちが楽しそうにしているのが、とても良かったです。
- みんなが笑顔だったこと
- 遊園地よりもエンターテインメント性の高い時間を共有できたこと
- いい意味でみんなが現実逃避できたこと
- スペース、アトラクション、フードとすべてにおいて充実した内容で、来場者の皆さんの期待を裏切ることなく笑顔を生み出していたと感じました。
- 子ども達の笑顔。喜んでいるのを肌で感じました！
- 子どもたちが楽しそうに遊んでいた点
- 子どもたちも保護者も、笑顔でした
- 来場の子供達、保護者の方がとても喜んでくれていたのが印象的。夏の軽井沢キャンプに参加していたお子さんが数名来てくれていて再会できたのがよかったです。
- 事前の準備段階から地元の方がたくさん関わってくださり、会を重ねるごとに珠洲の方々との交流が深まりとても良い経験をさせていただけました。またボランティアも各地から参加していて、年代を問わず色々な方々と交流できたのもよかったです。
- ボランティアに提供されたお弁当がボリュームがあり、とてもよかったです



以上

■協賛バナー W2,000mm×H800mm

